

第2回 飯山市旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議

日時 令和8年(2026年)3月31日(火)

13:30~15:30

場所 飯山市役所 4階 全員協議会室

次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 他自治体の参考資料（配布のみ）千葉県流山市、静岡県長泉町

協議事項

旧4小学校利活用ビジョン策定に向けて、意見の整理、取りまとめを行います。

協議資料①

協議事項1 「飯山市、いいやまならでは」について

協議事項2 飯山市の強み、弱み、機会、脅威について

協議事項3 旧4小学校の利活用について想定する内容と旧小学校エリアの未来像
旧4小学校のそれぞれの利活用について

協議資料② 各委員の意見のとりまとめ資料

資料の順番

- | | |
|--------|-----------------------------------------------------------|
| 1ページ | 問い③ 「いいやまならでは」 |
| 2、3ページ | 問い④ 飯山市の強み、弱み、機会、脅威について |
| 4ページ | 問い① 私が思う、「旧4小学校の利活用について想定する内容
と、私が考える旧小学校エリアの未来像。」について |
| 5ページ | 問い② 旧4小学校ごとの業種、業態について |
| 9ページ | 問い⑤ まちづくり、コミュニティ運営のアイデアについて |

その他

次回の予定について 第3回 4月24日(金) 8:30~10:15
飯山市役所 4階 全員協議会室

参考資料

千葉県流山市：千葉県北西部にある市。

人口 人口は約 21 万人。

出生率 1.58

人口増加している自治体、流山市

人口が増加している主な理由5つ



1. つくばエクスプレス（TX）開通による都心へのアクセスの良さ

2005年のつくばエクスプレス開業により、秋葉原などの都心まで最速20分台でアクセスできるようになりました。これにより、都心に通勤する共働き世帯にとって非常に魅力的なベッドタウンとなりました。

2. ターゲットを絞った明確なシティセールス（PR戦略）

「母になるなら、流山市。」や「都心から一番近い森のまち」といったキャッチコピーを掲げ、主に「共働きの子育て世代」にターゲットを絞った効果的なマーケティング戦略を行いました。この明確なメッセージが、多くの若いファミリー層の心を掴みました。

3. 独自で手厚い子育て支援策（送迎保育ステーションなど）

駅前で子どもを預かり、市内の各保育園へバスで送迎する「送迎保育ステーション」をいち早く導入しました。これにより、駅周辺以外の保育園も利用しやすくなり、共働き世帯の「保育園への送迎負担」を大幅に軽減したことが大きな要因です。

4. 緑豊かで良好な住環境の整備

「都心から一番近い森のまち」というコンセプトの通り、豊かな自然や緑を残しながら計画的な街づくりを行っています。大小さまざまな公園が整備されており、子どもを自然の中で遊ばせたいと考える子育て世代にとって、理想的な環境が整っています。

5. 大型商業施設などによる生活利便性の高さ

「流山おおたかの森駅」周辺を中心に、大型ショッピングセンターや飲食店、生活利便施設が次々とオープンしました。都心に出なくても市内で買い物や休日のお出かけが完結する、非常に高い利便性を誇っています。

このように、「交通の便」「子育てのしやすさ」「住環境」「利便性」が揃っているうえに、それを「効果的にPR」したことが、流山市の人口増加の大きな理由と言えます。

参考資料

静岡県長泉町：静岡県駿東郡に属する

三島市と沼津市の上に位置し、
工場の多い工業の町である。
近年急速に宅地化が進む。

人口 人口は約 4.3 万人の町

出生率 1.67



人口増加している自治体、長泉町

人口が増加している主な理由5つ

1. 交通アクセスの良さと便利な立地

東海道新幹線が停まる「三島駅」に隣接しており、東京や横浜などの首都圏へ新幹線通勤する人が多くいます。また、東名高速道路や新東名高速道路のインターチェンジも近く、車での移動も非常に便利な立地です。

2. 手厚い子育て支援策

「子育てするなら長泉」を掲げ、こども医療費の助成（高校生世代まで無料など）や、保育施設の充実、独自の育児支援サービスなど、子育て世代の経済的・心理的な負担を軽減する施策が非常に充実しています。

3. 安定した財政基盤と豊かな雇用

町内に多くの企業や工場、研究機関（医療・健康産業の拠点である「ファルマバレープロジェクト」など）が集積しています。これにより安定した税収と豊かな雇用が生まれ、充実した住民サービスへと還元される好循環が起きています。

4. 都市の利便性と豊かな自然のバランス

富士山の麓という豊かな自然環境に恵まれながらも、町内にはスーパーや商業施設、医療機関がコンパクトにまとまっています。「田舎すぎず、都会すぎない」という、生活しやすい住環境が若い世代を中心に支持されています。

5. 積極的な情報発信とブランド力の向上

町が一体となって「住みやすさ」や「子育てのしやすさ」を積極的にPRしており、移住・定住を検討している人たちにその魅力がしっかりと伝わっています。これにより「長泉町=子育てしやすい人気の街」というブランドが確立されています。

このように、「働く場所」「住む場所」「子育てする環境」の3拍子がしっかりと揃っていることが、長泉町に人が集まり続ける大きな理由と言えます。